

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和3年12月25日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670400219
法人名	医療法人 二三和会
事業所名	グループホーム わかば
所在地	鹿児島県枕崎市若葉町85番地 (電話) 0993-73-5101
自己評価作成日	令和3年10月12日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センター福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	令和3年11月7日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

- ・利用者様の生活作業をサポートしながら、一人ひとりにじっくりと関わって「その人に出来ること」を引き出し、認知症の症状を和らげていくことを大事にしている。
- ・毎日の生活の中で心身両面から「その人らしさ」を取り戻す環境作りに力を入れている。
- ・地域の方々との交流も行いたいが、新型コロナウイルスの影響でなかなか交流が出来ていない。その中でドライブや近所を散歩に行き、外の景色を眺めて季節を感じてもらっている。
- ・家族のように接し、お互いに思いやりを持って利用者様を知ろうとする努力を職員全員が行っている。
- ・毎月日頃の様子を撮った写真をホームページに掲載し、遠方に住んでいるご家族の方にお届け出来るように取り組んでいる。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・当事業所は医療法人の運営であり、職員による定期受診の同行支援や24時間の医療連携体制が整っており、医療面における家族の安心に繋がっている。
- ・地域や隣接施設・他のグループホームとの交流はコロナ感染症予防の為困難な状況であり、近所の散歩時のあいさつをする程度である。事業所の中に閉じこもらないよう週1回はドライブに出かけ、季節を感じてもらったり、気分転換を図っている。手作りの花見弁当やおにぎり弁当持参のドライブも楽しんでいる。
- ・家族の面会は窓越しであるが、事業所から「わかば便り」や写真を送付したり電話で近況を報告し、家族と利用者の連携に努めている。
- ・管理者は、職員各自の得意分野を活かして楽しく前向きに仕事に取り組んでもらえるよう配慮し、不得意分野は職員が互いにカバーし合う雰囲気作りに努めている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	理念を意識するように心がけ、職員同士、共有と共感を行うよう努力している。	理念を玄関・リビングに掲示し、重要事項説明書に掲載し、毎朝唱和して確認している。ミーティング時に、理念を共有して実践に繋げているかケアを振り返って確認している。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	新型コロナウイルスの影響で以前のような交流は、自粛している。	自治会に加入し、回覧板で地域の情報を得ている。コロナ禍の為、地域行事は自粛し、保育園や他の事業所との交流、隣接施設との合同イベント実施は困難な状況である。住民から野菜のおすそ分けは継続している。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	運営推進会議の中で地域の方々に出席して頂き、認知症の人の支援方法を理解してもらっている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議の中でサービスの提供状況を報告し、必要な要望、助言等を聴き、サービスの向上に努めている。	2ヶ月に1回の運営推進会議を、市民会館で実施し、ヒヤリハットを含めた事業所の状況報告及び意見交換を行っている。コロナ禍の中での家族との面会や事業所の取り組みについて、意見交換を通して委員の理解を得ている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	毎月の報告等を行い、情報交換を密に取り合っている。サービスの取り組み方などのアドバイスを頂いている。	市の担当者とは、運営推進会議時の意見交換及び報告や「わかば便り」を持参して窓口に出向き、連携を図っている。市や協議会の研修会は対面・リモート共に積極的に参加し、情報収集に努めている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束委員会にて、身体拘束についての勉強会を行っている。身体拘束禁止の対象となる具体的な行為を理解し、意識づけを行っている。	指針を作成しており、委員会は毎月、勉強会は年4回実施している。勉強会ではスピーチロックについての事例研修を行い、職員の身体拘束に対する理解を深めている。日中は玄関の施錠はせず、外出希望の利用者を察知したら職員が同行し、一緒に散歩を行い、行動を制限しないケアに取り組んでいる。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	職員ミーティング等で虐待防止の勉強会を行っている。虐待を見過ごさないように努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	全員揃っての研修は行えていないが資料を配布し個々で学ぶ機会を持つように努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約時や契約の改定時は、家族の方に説明を行い、理解して頂もらい、契約書や同意書に署名して頂いている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>運営推進会議や面会時に、入居者様ご家族、本人様の要望や意見を聞き、運営に反映させている。</p>	<p>利用者には、日々の会話で要望等を出しやすい声掛けをしている。家族には、運営推進会議や来訪時に要望等を聞いている。いつまで居させてもらえるのかとの意見があり、退所の場合は事前に家族に相談し意向を聞いて対応すると説明し、不安解消を図った例がある。</p>	
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>職員ミーティング等や個人面談にて、運営に関する意見や提案を聞き、反映させている。</p>	<p>毎月ミーティング時に職員の意見を聞く機会を設けている他、日々の業務の中やLINEで良く意見や提案が出されている。利用者の就寝時間を考慮した食事時間の提案が出され、食事時間の明確化と業務改善に反映させている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>職員の個々の能力を評価し、やりがいを持って働けるように職場環境、条件の整備に努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>新型コロナウイルスの影響により、研修に行く機会が少なくなった。リモートでの研修も増えてきたので積極的に参加している。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>グループホーム連絡協議会の研修会に参加し、交流を行い、情報交換やアドバイスを頂いている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居者の情報を元に話をし、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けている。安心してもらえるような声かけをして、信頼関係を築くよう努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居者家族が困っていること、不安に思っていることを聴いて、理解、共感し関係作りに努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入所前の生活を知るため、利用していたサービス事業所、本人、家族より情報収集を行い、個々に対して必要としている支援を見極め対応している。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	掃除、洗濯物たたみ、シーツ交換などの入居者の能力に合わせて、声かけ、見守りを行いながら一緒にして頂き、信頼関係作りを行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		<p>○本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>外出や外泊は新型コロナウイルスの影響で自粛している。衣替え、必要物品の購入や持ち込みなど、入居者様が安心して生活できるようにご家族に協力を頂いている。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>新型コロナウイルスの影響で面会を制限しているが、それでも訪問して下さるご家族様や知人の方には窓越し面会を行い場合によっては電話を使用して会話を行っている。</p>	<p>コロナ禍の為、家族・知人との面会は、リビングの窓越しで電話も使用して行っている。事業所から、毎月「わかば便り」や写真を送付し近況を報告して、家族との関係が途切れないように支援している。</p>	
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>トラブルにならないように席の配置を考慮している。入居者様の興味を引き出し、言葉遊び、数字並べなどを取り入れ楽しい会話ができるように支援している。</p>		
22		<p>○関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>新型コロナウイルスの影響で入院先に面談には行けないが、病院の相談員や家族に連絡を取り状態把握し、又家族の相談にも応じている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	基本情報シートにて入居者様の人生を把握し、入居後の希望を記入して頂いている。計画変更時も思いや意向の聞き取りを行っている。	日々の会話で、本人が思いを表出できるような声掛けを工夫している。困難な場合は、アセスメントや家族の情報を参考に、日々の関わりの中で本人の思いを汲み取るように努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	基本情報シートや在宅時の主治医、ケアマネの情報提供書を活用している。又、面会時には声かけし情報を得ている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々の観察、介護記録、3ヶ月に一回のモニタリング、月一回と必要時ミーティングを行い現状把握に努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人がより良く暮らせるように、家族や本人、関係スタッフからの情報収集し話し合いを重ねる。その意見やアイデアを反映し現状に即した介護計画を作成している。	本人や家族の希望を聞き取り、ミーティング時に職員で検討して介護計画を作成している。3ヶ月に1回モニタリングを実施し、必要時は計画の修正を行っている。状況変化時やモニタリング結果に応じ、現状に即した介護計画に見直している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>支援経過記録、介護日誌に日々の気づきや対応策を個別に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>本人や家族の状況、ニーズに対応して、その時々状況に合わせて、柔軟な支援やサービスが出来るよう多機能化に取り組んでいる。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>新型コロナウイルスの影響により、地域の行事等もなく、参加出来ていない状況である。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>家族や本人の意向を大切に、かかりつけ医を選択して頂いている。協力病院には、スタッフが同伴し、他の医療機関には必要に応じて送迎し、受診支援を行っている。適切な医療を受けられるよう報告、相談を行っている。</p>	<p>契約時に希望するかかりつけ医を確認し、全員が協力医療機関を希望している。適切な医療を受けられるよう、定期受診は職員の同行受診、歯科は訪問診療または家族同行で対応している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>日々の生活の中で気がついたことは看護師に伝え、受診した方が良いか判断している。必要に応じて主治医に連絡をとり受診出来るように支援している。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>利用者様が入院した際は、今のような状態なのかを把握するため、病院関係者と情報交換に努めている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>重度化した場合や終末期のあり方について、家族や本人と話し合いを行い、家族の考えを尊重するように努めている。</p>	<p>契約時に重度化の場合の対応について説明し、同意書を得ている。利用者の状況等により、段階的に入院や特別養護老人ホーム等の選択肢についての説明を行っている。重度化等の場合に主治医から家族への説明に管理者等が同席し、家族の意向を確認しながら支援に取り組んでおり、看取り事例がある。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>利用者の急変や事故発生時に備えて、応急手当の方法を日頃から看護師に聞くなど、研修、訓練を行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>消防避難訓練を年に2回行っている。消防訓練時、どのような点に気がつけた方が良いかなどアドバイスもらい職員間で共有している。</p>	<p>年2回の避難訓練を昼夜想定で実施し、夜間想定の際に消防署の立ち会いがある。コロナ禍の為近隣住民への声掛けは控えている。非常用の備蓄は、3日分の水・乾麺・缶詰等の食料の他、カセットコンロも準備している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人ひとりの人格を尊重し、自尊心や羞恥心に配慮した声かけを行っている。	研修を実施し、本人の希望する呼びかけや入室時・個別ケア時の声掛けなど、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応を行っている。申し送りは事務室で実施し、利用者に内容が分からないよう配慮している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	入居者様の思いをくみ取り、自己決定してもらえる言葉かけを行っている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりの生活リズムを理解、大切にし本人のペースに合わせている。穏やかに過ごせる様に支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	次に着る服などを一緒に選び、その人らしいおしゃれが出来るように支援している。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	入居時に本人の好きな物、嫌いな物を本人や家族から聞き取り、一人ひとりに合わせた食事を提供している。食事の準備や片付け、出来ることを一緒にしている。	利用者の嗜好を聞いて調理し、利用者も下ごしらえや茶碗洗い等を一緒にしている。誕生日の特別メニューやケーキ、季節の行事食、弁当持参のドライブ等、食事を楽しめるよう雰囲気を変えて提供している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量は、個々に合わせて提供し、毎日の摂取量を記録している。また水分量もチェックし記録している。水分は必要量が摂れるように本人が好む物を選んでいる。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	一人ひとり、口腔ケアの声かけを行い、見守りや介助を行っている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	一人ひとりの排泄パターンを把握し、声かけを行っている。リハビリパンツから布パンツに変更し、排泄の自立に向けた支援を行っている。	日中は全員がトイレでの排泄であり、個々の排泄パターンに応じて声掛けを行っている。リハビリパンツから布パンツへの変更に努める等、排泄の自立支援に取り組んでおり、改善が見られている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	腹部マッサージや緩下剤等を利用している。便秘予防になる食品も食事に取り入れている。日中は廊下歩行や体操も積極的に行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入浴を本人が嫌がっているときや気分不良時は、無理強いせず、気分の良い日や他の日にしましょうと声かけを行っている。個々のタイミングに合わせている。	入浴は、週2回午前中を基本に支援しており、1対1の介助で入浴を楽しんでいる。入浴を嫌がる場合は無理強いせず、別の日に入ってもらおう等の対応をしている。汚染時はシャワー浴等で保清に努めている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	個々のペースに合わせて、ソファや自室でゆっくり休んで頂いている。職員の都合に合わせないように支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	職員が服薬管理を行っている。薬の種類や目的、副作用など理解し服薬支援と症状の変化の確認に努めている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	日常で出来る、洗濯物たたみ、お盆拭き、テーブル拭き、床掃除等、個々の能力に応じて役割をもってもらっている。塗り絵やカラオケ本人がしたいことが出来るように支援を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>新型コロナウイルスの影響で職員のみでの支援になるが、散歩やドライブに出かけている。</p>	<p>毎朝近隣の散歩をしている。事業所の車椅子対応車が隣接施設にあり、いつでも出かけられる為、天気の良い日や利用者の希望で週1回は、季節の花見や自宅訪問のドライブに出かけている。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>本人がお金の所持や管理が困難な為、個別に家族より預かっている。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>家族の方と話がしたいと要望があった場合は電話で話せるように支援している。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>玄関やホール、廊下等に絵や折り紙の飾りつけを行い、季節を感じてもらえるように工夫している。飾りを一緒に制作している。</p>	<p>ホールは天窗があり明るく、季節の手作り作品が飾られている。空気清浄機や加湿器・エアコンで適度な室内環境に調節され、定期的に窓や天窗を開けて換気を行っている。テラスで外気浴をしながら季節を感じたり、好みの場所でくつろげるようソファも配置されている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>共用空間の中でもプライベートな空間が作れるように座席を配置している。気の合う方同士、お話が出来るよう声かけ、誘導を行い支援している。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>本人、家族の意向に出来るだけ沿って、好きな物、写真を飾り、居心地良く過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>居室には、ベッドやタンス・エアコンが備えてあり、寝具はリースである。本人は、毛布や衣装ケース・写真・人形・アルバム等の身の回りの品々を持ち込んで、落ち着いて過ごせるような部屋作りをしている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>出来ることは、本人にしてもらえるように、廊下やトイレ内に手すりを設置し、安全に自立した生活が送れるように工夫している。</p>		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	<p>通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)</p>	○	1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	<p>運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)</p>	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	<p>職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)</p>	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	<p>職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。</p>	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	<p>職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。</p>	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない